

建築士

おおた

春季号

2019 NO 122



公益社団法人 大分県建築士会

CONTENTS

1 『おおいた建築セミナーinさいき』開催報告	佐伯支部	後藤	好信
2 まちづくり会議参加報告	宇佐支部	渡辺	賢一
4 インフォメーション（支部だより）	中津支部	松山	桂嗣
	佐賀関支部	渡邊	豊基
	大分支部	樋口	真士
	高田支部	後藤	憲二
11 公益事業の成果	大分支部	小川	淳
	別府支部	小山	秀輝
	佐伯支部	富松	誠
14 全国大会参加報告	宇佐支部	光井	智
16 我が街の建築士（県北支部）	玖珠支部	鶴窪	優美
	日田支部	友田	良
	宇佐支部	廣崎	聡
18 マイワーク（大分支部・別府支部）	大分支部	高橋	大介
	大分支部	佐藤	啓之
	別府支部	小山	秀輝
20 マイベストブック（県南支部）	津久見支部	竹田	光徳
	佐伯支部	井上	一則
21 サイクリング部活動報告	佐賀関支部	渡邊	豊基
24 マーボアの旅先日記	会	長	井上 正文
26 事務局だより			



■ 表紙説明 ■

表紙のイラスト

『野口病院』

別府支部 新山 俊則

建築セミナー in さいき

期 日：平成31年1月26日(土)

会 場：割烹 山城家

佐伯支部 後 藤 好 信

大分県建築士会で毎年行われている「建築セミナー」年に一度、各支部待ち周りで行われており今回で5回目となるこのセミナーは、建築分野だけでなく、建築と街、建築と環境、といったように建築を通して持続可能な社会を目指したセミナーが多く行われてきました。

今回、佐伯で開催することが決まり、佐伯支部青年部が中心となって準備を行って行く中で、佐伯で開催するならファイニング建築の第一人者であり、佐伯市蒲江出身の青木茂先生しかいないだろうということで連絡を取り開催することができました。



今回の建築セミナーのタイトルを「ときをこえる建築」とし、基調講演では表面を整えるだけの建築ではなく、耐震補強や確認申請をしっかりと行い、現代に適した再生をすることで、建物の価値を上げる青木先生のリファイニング建築の話しを聞くことができました。

その後、分科会では「さいきさんぽ」と題し、有休不動産を活用しまちを活性化させるリノベーションまちづくりが進む佐伯市船頭町エリアの散策と日本の道100選にも選ばれ城下町の名残が残る歴史と

文学の道を散策するコースを設定し、まち歩きを行いました。リノベーションまちづくりコースでは築100年前後の空き家をリノベーションし、カフェや設計事務所、フリースペースへと生まれ変わらせ新たな人の流れを作る過程を見ていただきました。



城下町探訪コースではさいきガイドの会による佐伯の歴史と城下町について詳しく教えていただきました。

更に、両コースとも佐伯市の目玉事業であり現在建設中の「さいき城山桜ホール」の工事現場をみていただきまち歩きを行いました。

開催日当日は、まさかの雪で一部高速道路に通行規制がかかるなど決して良い天気ではなかったですが、70名を超える多くのお客様にご来場いただき無事に開催することができました。ありがとうございました。

平成30年度 全国まちづくり委員長会議への参加報告

おおいた地域貢献・まちづくり推進委員会委員長 渡辺賢一

2月1日(金)～2日(土)に全国まちづくり委員長会議が開催され、参加してきた。

会場となったのは昭和8年に建設された神戸市の御影公会堂。戦禍を逃れ、阪神淡路の大震災の際には避難所になった建物。



各都道府県の5つの部会（歴史・空き家・福祉・景観・防災）の活動報告を通して、行政と建築士会の役割分担や協働のあり方について学ぶことができた。

今回の会議では、まず会場となった兵庫県のまちづくりについて、①被災建築物応急危険度判定の実施、その後の展開②景観形成重要建造物の保存活用（建築基準法の適用除外）③景観行政の方向性（守り育てる、から来て見てもらう、へ）④県民参加型福祉のまちづくり⑤空き家対策（予防・利活用・適性管理）について、各担当責任者から報告があった。兵庫県は、震災の体験からいち早く復興に向けての取り組みを自治体・建築士会が行ってきた、ということである。

また連合会部会からは、各部会長からの問題提起として、防災部会は事前復興まちづくりについて②歴史部会からはHMの建築士会登録・自治体からの相談窓口設置について③景観部会は景観まちづくり推進員養成講座開設に向けて④福祉部会はUDのまちづくり⑤空き家部会からは空き家利活用に関する建築士の養成講座開設に関する取り組み報告があった。

1日目最後の会議は、市民参加型まちづくりのシンポジウムが開かれた。



街づくりの現場として、2地区のまちづくりに取り組む団体の代表者を招いて行われた。

まちづくりとは、そこで働く、そこで子育てをする、そこで生活をしているひとりひとりが魅力を感じられる街を目指すということではないだろうか。そして行政の協力と、様々な分野の専門家の見識をまとめるコーディネイターとしての役割を建築士が担うべきではないだろうか、との意見があった。

2日目は、各部会ごとに分かれて「まちづくりの課題とその解決へ向けての展開を探る～50年先の未来に向けて～」をテーマに分科会が開かれ、意見交換が行われた。その後の全体会では、分科会で討議された課題について参加者全員で解決策をまとめ、持ち帰って今後の活動に反映させることを確認した。



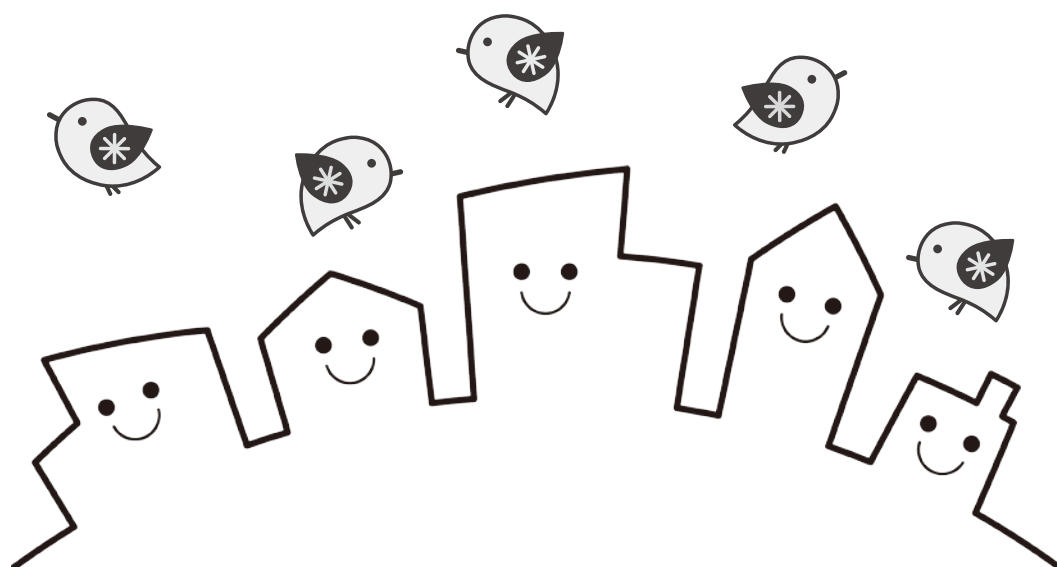
まとめに、森崎まちづくり委員長は、さらに研鑽し、対外的にアピールをしていかななくてはならない。その中で、部会間連携のまちづくり体制の確立が重要になる、と話された。

午後からの委員長会議では、各部会活動への各士会の対応について報告に始まり、続いてブロック別の活動報告があった。その後、各ブロックに分かれて意見交換会があり、15時に閉会となった。

出席者 142名

うち、

参加者	111名
報告者	6名
コーディネーター	1名
パネラー	6名
コメンテーター	5名
日本建築士会連合会関係	13名





中津・宇佐支部合同親睦会

中津支部 松山 桂 嗣

毎年行われている合同親睦会を平成30年9月15日に中津にて行ないました。

始めるきっかけは5年前になりますが、隣接した地域のため、各種業務等や士会でのイベント等で日頃からよく会うことが多くあり、仕事のことや士会の活動についてなど、色々な話をしていました。

この際少ない人数で違った形で集まれる事をしたいと、近隣であれば県を超えた豊前の建築士の方々も含めた企画とし、「近隣エリア青部・女性部の仲間を交え、さらなる交流を深めて活性化に繋げたい」との思いで始めました。

お酒が進むにつれて、話を進めていくに連れて、各地域でも課題となっている空家問題や地元住民の方々との建築士としてのかかわり方、新規建築士等の会員増員やより一層求められるであろう建築士についてなど、色々の垣根をこえた話題から各自の家庭の事や趣味の話など数多くあり、笑顔が絶えない時間となりました。

若手ばかりなのかもしれませんが、回を重ねるうちに各支部の新入会員や若手建築士・市役所の若手建築士、日頃は士会活動など参加出来なかった方、将来の建築士候補でもある工科短大の学生（ちゃんと成人です（笑））と先生など少しずつではありますが、参加する方々が多くなり、今日という出会いを新たな人間関係の広がりや繋がり場として今後とも続けていこうと思います。





「北部九州・山口」の世界遺産等視察研修旅行

佐賀関支部 渡 邊 豊 基

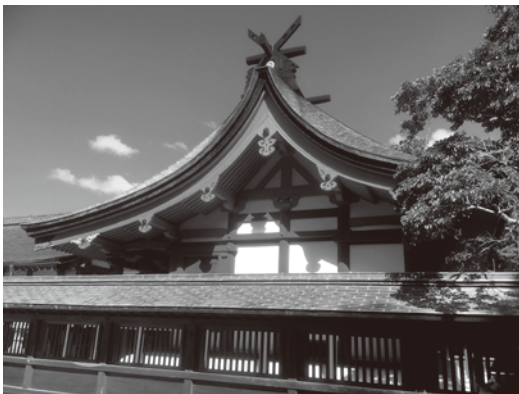
今年度の世界遺産視察旅行は、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」の内、宗像大社に。また、明治日本の産業革命遺産の内、「八幡製鉄所旧本事務所」に。さらに、建築にはかかせない衛生器具メーカーのTOTOミュージアム、また景観計画策定の参考にするため、角島大橋や灯台を視察地として選定しました。

旅程は、10月20日から21日とし、参加者は8名でした。

一行は、20日9時30分に大分駅に集合し、レンタカーにて出発。その直後から支部長がクーラーボックスから徐に「ビール」を取り出し“プシュ”と！…一同、「あつまたやりやがった」の声。(笑)…ほんと我が支部のイベントには、アルコールが欠かせません。(笑)

レンタカーは、宗像大社目指して順調に進みます。車内の宴会は、朝から快調に飛ばします。

昼過ぎに、大社に到着し、千鳥足で参拝兼視察研修です。五間社両流造りの拝殿、本殿は圧巻の建築物です。



宗像大社

境内に隣接する神宝館では、沖ノ島から発掘された重要文化財等が展示されていました。

一行は、本殿の千木の削ぎ方に注目。その先端は

垂直に削がれており、「男神」をイメージしましたが、パンフで確認すると、「女神」の鎮座と書いてあります。不思議に思いつつも解決に至らず、次の視察地へと移動しました。

八幡製鉄所旧本事務所は、八幡製鉄所創業2年前の1899年に竣工した初代本事務所です。中央にドームを持つ左右対称形の赤煉瓦建造物で、長官室や技監室、外国人顧問技師室などが置かれていたとのこと。あいにく、改修工事のため仮設足場がかけられており、近くで見ることは出来ませんでした。重厚な煉瓦造りの建築物には感心しました。



北九州市ホームページより引用

さて、小生はここでスマホを紛失していることに気づき、慌てて同行人から電話してもらったところ、宗像大社の社務所職員が保管しているとのこと。ホッとしつつ、明日取りに伺いますと返答したところ、同行の皆さんから「ないと不便じゃろ。いまから取に戻ろう！」と暖かいお言葉。(泣)ほんと、迷惑かけました。(謝)

往復、2時間かけて北九州に戻った時刻は、17時すぎ。次の視察地は、明日に延期し、宿にチェックイン。

車中で飲んだアルコールは、スマホ紛失事件ですっかり覚めやり、気を取り直して、宴会に。おいしい酒と肴ですっかり上機嫌になり、スマホがある安心感で、すっきりと就寝できました。アハハ

さて、2日目は、山口県に足を延ばし、角島へ順調に向かいます。

一行は、車中で快調に宴会を続けています。(笑)沿道には、山陰地方特有の建築様式の住宅があり、「瓦の種類や雪対策のための工夫が見られる」と飲んでる割には意外としっかり視察しているのです。

日本海に面した道路に差し掛かると、「おおっ〜。」と歓声があがり、磯場や漁船を見て、「何が、釣れるんじゃろかの〜」と佐賀関根性丸出しです。

そんな愉快な話をしていたところ、いつの間にか

目前に「角島大橋」が！



角島大橋

紺碧の海に、真っ青な空。そこを突き抜けるように架けられた大橋は、見事な景観です。

せっかくここまで来たので、橋を渡り、角島灯台へ進みます。

本支部は、今年度の公益事業として、佐賀関地区の景観計画の策定を目標としており、関崎灯台周辺の景観形成を目論んでいます。丁度、この計画の参考にすべく、角島灯台の視察と相成りました。



角島灯台

角島灯台は、明治9年に初点灯した総御影石造りの洋式灯台です。日本海側初の洋式灯台で、130年以上経った現在でも、現役で毎日点灯しています。その高さは29.6mで、らせん階段で踊り場まで昇れます。

角島灯台に隣接された灯台記念館は、職員の宿舎だった退息所を利用した施設で、角島の歴史や日本各地にある灯台が紹介されています。灯台長の部屋なども復元されています。周辺には、角島灯台を中心に整備された歴史を感じる事が出来る公園が整備されており、展望台、雑貨店、休憩所等も設備されています。

また、灯台は日本財団から「恋する灯台」に指定されており、多くの観光客が押し寄せていました。



このような、先進地事例を参考に、関崎灯台周辺の景観計画に取り組んでいく所存です。

さて、一行は最後の視察地へ向けて移動しますが、参加者からは、「せっかく山口まで来たんやから、昼飯に”ふぐ”じゃの〜」とのリクエスト。軍資金は、昨夜の大宴会で残り少なくなっており、「我慢して〜」との回答。(笑)

それでも、関門海峡目のレストランにて、海鮮料理や名物の瓦そばを注文し、ふぐ料理を回避したところ、「おっ、ひれ酒があるじゃん」とのことから、結局、これを注文！会計は予算オーバーし、各自から追加資金を徴収して、事なきを得ました。

TOTOミュージアムに到着したころには、酔いも覚め、一同、真面目に視察。



TOTOミュージアム正面

TOTOは1917年に創立され、国民の健康で文化的な生活の実現を願い、水洗便器をはじめとする衛生陶器の製造に着手したとのことです。

建築にはいろんな設備が必要となりますが、特に衛生器具は生活に欠かすことが出来ません。毎日、使うものですから安全で使いやすい機能が必要とされており、ミュージアムでは製造過程について映像を駆使して紹介しています。

昔のウオシュレットのCMのコピーは、「好きな人の匂うから」と宣伝していましたが、ウオシュ



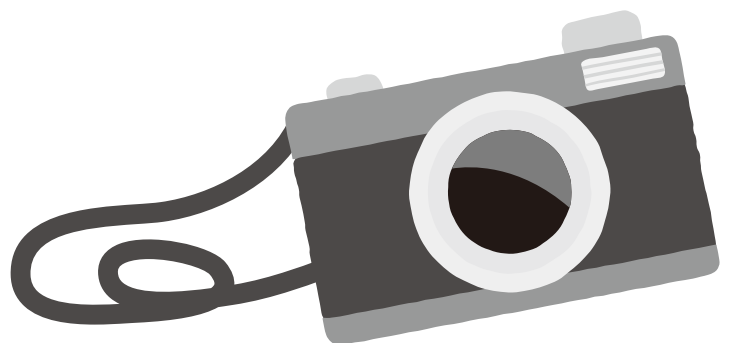
TOTOミュージアム館内にて

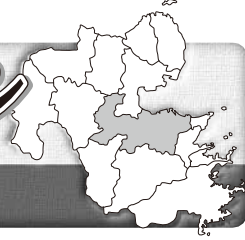


国会議事堂などで使用された1927年製のトイレ。

レットの効果はそれ以上！現代人の生活になくなくてはならぬ衛生器具だと感じています。これこそ、世界遺産に匹敵する「産業遺産」だと個人的に思っています。(笑)

全ての視察を終え、帰路の途中で参加者から、「建築遺産もいいけど産業遺産は生活に直結しちゃう」と発言があり、「よっしゃ来年は、鹿児島県の産業遺産を見に行くぞ」と、力強いお言葉がありましたので、これから、企画していきま〜す。





大分支部 樋口真士

平成30年9月14日～20日、西大分の柞原八幡宮にて「柞原八幡宮 仲秋祭 浜の市」が開催されました。

私は、大分支部 大分市役所勤務の樋口真士と申します。

はじめにこの行事について説明します。

浜の市は、柞原八幡宮が生石の浜の放生会に神興する祭事で鎌倉時代初期から行われている伝統的行事です。

今回、そんな浜の市の最終日である20日(木)に大分県建築士会の一員として参加してきました。

参加した目的は、浜の市期間中に本宮から仮宮に移っていた神輿を本宮にお戻しするというものでした。

当日は、天候に恵まれず小雨の降る中での行事となりました。



自分は大分で育ったのにもかかわらず、この行事に参加するまで柞原八幡宮に参拝したことがありませんでした。

柞原八幡宮には、重要文化財が多くありますが今回はあまり見ることはできませんでした。

また時間のある時にゆっくり参拝と建物見学をしてみたいと思います。

浜の市期間中はお神輿だけではなく他にもさまざまなイベントがあり次回はそのような関連行事にも参加してみたいと思いました。



白装束に着替え、建築士会の約20名で1つの神輿を担ぎ約4キロ先にある本宮をめざして全員で力を合わせ、無事に神輿を本宮に届けることができました。

巡行の最中、沿道からの声掛けや拝礼する姿を見て柞原八幡宮は庶民からの信仰が厚く、多くの人々に愛されている神社だと感じました。

この行事で普段はなかなかできない貴重な経験と建築士会一年目の自分にとって多くの方と交流ができ、知り合えてとても良い行事になりました。





ホーランエンヤ

高田支部 後藤 憲 二

「ホーランエンヤ」と呼ばれるお祭りは、豊後高田市の他に鳥根県松江市、広島県尾道市でも行われており、演歌の大御所鳥羽一郎の「宝来船祭り」でその内容が歌われています。



色鮮やかな大漁旗や五色の紙を付けた笹竹などで華やかに飾られた宝来船に「漕ぎ手」の若者、笛や太鼓を演奏する「囃子方（はやしかた）」、「踊り方」や、保存会、地元議員、商工会など関係者が乗り込み、豊後高田市の中心を流れる桂川右岸の玉津磯町から出発下流の琴平宮（金毘羅宮）で餅を供えた後、旋回して上流の若宮八幡神社を目指し、「ホーランエンヤ、エンヤサノサッサ」のかけ声とともに上げ潮に乗って漕ぎ上がります。



宝来船からは紅白の祝い餅が撒かれ、この餅が幸せをもたらすということで沿道の観客はこぞって拾います。終着点の旧市役所前では接岸した宝来船から餅撒きが行われます。

ホーランエンヤは江戸時代中期から始まったとされ、当時豊後高田市は島原藩の領地であり、島原藩やその大阪蔵屋敷へ年貢米を廻送船で運んでいたためその航海の安全を祈願する行事として始まったようです。このお祭りの見どころは、ご祝儀が差し出されると宝来船漕ぎ手の若者たちが厳寒の中、「締め込み」と呼ばれるふんどしのような装束で飛び込み川岸まで泳いでご祝儀を取りに来るところです。

理事会で支部長と会長が豊後高田のお祭りの話をした際に会長は秋に行われる若宮八幡秋季大祭は見学したことがあるがホーランエンヤはまだだということでは是非お越しく下さいということになったのです。昔は元旦に行われていたこの行事ですが最近では満潮の時間を計算して日程が決められるため会長の日程となかなか折り合わず数年越しで実現しました。

当日は、出航時間を間違えるという大失態を犯して始まったものの餅撒きやご祝儀を受け取る飛び込みなどを見学して頂き、途中、昭和の町展示館で行われている福引にも参加して頂き6等と7等を引き当ててもらいました。



ホーランエンヤの後は、高田支部の会員と会長とで昼食会を行い、鳥羽一郎の「宝来船祭り」で松江や尾道と共に歌詞に出るという話から会長の松江を訪れた時の話に発展したり、会長の建築士会入会以来の色々なエピソードなどで盛り上がりあっという間に時間が経つという感じでした。



ホーランエンヤの紅白餅と福引の景品をお土産に持って帰って頂き、地元の祭りを通じた交流会を楽しめました。



今回の機会を得て以前、中津城のたもとに数万個の紙灯籠を並ばせる城まつりで偶然佐伯支部の皆さんと中津城の天守閣の最上階で出会ったことを思い出しました。

今後は、このような地元の祭りなどを通じて他支部との交流を図っていくことも楽しいのではと思い、また機会を作っていければと思います。



大分支部 小川 淳

平成30年9月15日、一級建築士設計製図試験対策として「一級建築士設計製図試験対策見学会」が大分県身体障害者福祉センターにて開催されました。ちなみに本年度の課題は「健康づくりのためのスポーツ施設※健康増進のためのエクササイズ等を行う温水プールのある建築物」という内容でした。

見学会では、現場の第一線で活躍されている建築士の方、施設の管理者の方を講師に迎え※写真1、レクチャーを受けながら、実際の施設を見学することができました。



写真1：ロビーにて見学会の流れや注意事項を確認

施設外周の見学※写真2では、受水槽や変電設備、パイプシャフト等の大きさや位置について説明を受けました。施設内部の見学※写真3、4では、普段は入る事ができない屋上に設置している設備機器や、地下部分にある機械室（バックヤード）を見ることができました。また、屋内プール、運動施設、事務室等では、実際に施設を利用している様子を見学することができました。

各エリアで試験時の注意点等をわかりやすく説明して頂き、質疑応答の時間もあったので、理解を深めることができました。

見学会に参加することで、課題に対するイメージがより具体的になり、選択の幅を広げることが出来ました。私自身、見学会での経験が本番で力となり、本年度の製図試験合格に繋がったと感じております。

来年度、一級建築士の製図試験を受ける方は、是非とも見学会へ参加してみたいはいかがでしょうか。



写真2：屋外建築設備について説明を受ける参加者



写真3：普段は入ることができないバックヤードを見学



写真4：室内空間の構成、利用者の様子を肌で体感

別府支部 小山 秀輝

【防災講習会】

日 時 平成30年11月3日(土)、4日(日)

9:30~15:30

場 所 日出町中央公民館

【活動概要】

- 災害時における大分県と建築士会の提携について
以下の3項目に分け、パネル作成・展示
 - ①災害時
 - ②被災支援
 - ③耐震補強での補助や方法
- 耐震補強を進めるパンフレットの説明と配布
- 危険コンクリートブロック塀の説明とパンフレット配布
- E-ディフェンスでの建物倒壊実験映像、耐震補強のポイント及び施工方法などの動画紹介



ひじ産業文化まつりでの出展ということもあり、数多くの方々に足を運んでもらうことができ、建築士会としての活動をアピールできた。また、動画による説明は分かりやすく、来訪者の理解が得られた。

応急危険度判定の活動については、報道の影響もあり認知度が高かった。

今回は、日出町での開催であったが、機会があれば老朽化した建物が多い別府市でも開催していきたい。そのことにより、歴史的建造物の掘り起こしにも役立てていきたい。

佐伯支部 富 松 誠

折り紙建築教室

今年も折り紙建築の季節になりました。

公益事業の一環として建築士会佐伯支部でおこなっています。昨年も米水津小学校で実施し、好評だったので今年も連絡したところ「ぜひお願いします」と返事をいただき、私の母校である米水津小学校に出張しました。



6年生は2回目、5年生にとっては初めての折り紙建築という事で作業スピードが心配でしたが、さすが子ども達！覚えが早くすぐに作品づくりに没頭していました。

昨年は難易度の高い作品を多く用意し、ひとつの作品に時間を多く使ってしまったので、その反省を生かして、今年は事前に私が時間を計りながら作り、作品の特徴も考えて、教室で用意する作品を選びました。(なので自宅リビングは折り紙建築の作品展のようになっていました。)



しかし、いざ教室で作業を進めるとなると予想通りにはいきません。私が難しいと思ったフ

リーハンドの作業を難なくこなしているかと思えば、簡単だと思った作業に時間がかかったり…。大人と子どもでは感覚が違うようです。



今年の折り紙建築教室は5年生と6年生の担任の先生がたにも参加していただきました。子ども達の声も届かないくらい集中している先生をみて、年齢に関係なく楽しく集中させてくれる折り紙建築に改めて感動しているとあっという間に3時間が終わってしまいました。

2年連続で同じ生徒達に接することができたので子どもの成長を実感する事ができましたし、特に私は6年にわが子がいるので、昨年からの学校でのわが子の成長も見ることができました。



全国大会参加報告

宇佐支部 光 井 智

全国大会。ワクワクするイベントである。全国の建築士の方とお会いできることはもちろん、旅という意味合いもあるからです。きっかけがないと中々自ら旅の計画を立てない私にとっていい機会でもあります。

宇佐支部のメンバーと旅の計画を練るにあたり、各自で交通系ICカードを作ることが提案されました。このカードがあまり普段公共交通機関を利用しない田舎者には魔法のようなカードであったことが印象に残っています。それは後ほど。

旅の出発日。私の妻の「東京にいる友達に会いたい。」という想いを聞き、メンバーとは多少旅程が違うものになりましたが、妻と次の日に東京で会う約束をして、大分を出発しました。朝、5:30の飛行機で飛び、7:00には羽田に到着、品川のホテルに荷物を預けた後、埼玉県大宮ソニックシティへと向かいました。



東京～埼玉の移動は基本、徒歩か交通機関となります。その時便利なのが前もって手に入れたICカードなのです。切符など買わなくてよいので移動が実にスムーズです。因みに私はカードに15,000円をチャージして次の日の東京観光を含め二十数回の利用がありましたが、5,000円程の使用となりました。

大宮駅に到着して、さまよっているとさいたま大会の埼玉物産展を見つけそこでようやく到着した安堵感を得られました。ソニックシティの場所を聞き、受付を済ませ「歴史・街づくり



セッション」に参加しました。まちづくりの取り組み方を熱く語るセッションはとても興味深く、為になりました。この後、駅に戻りメンバーと合流し昼食を済ませ、川越市に向かいました。

歴史的町並みの川越市を散策するのも宇佐支部の目的でもあったため、日程の関係から開会式に参加できなかったことを今ここで埼玉の方にお詫び申し上げます。許してね。散策をしていると歴史的建造物に交じりスターバックスコーヒーを発見。大宰府天満宮、参道にあるものとはまた違うデザインで街並みに上手く溶け込んでいました。ここで一休憩いれてコーヒーを飲みました。店内も見てみたかったです。このような場所に来ると人が多いことに驚くとともに観光資源の活用は街づくりと大きく関わっていることを実感できます。



そして、埼玉に戻りメインイベントの大会大交流会です。各種催し物等見ながら、各県の方とお話ができるのはもちろん、意外と自県の方との初めてのおしゃべりなど、色々発見があるものです。交流会の楽しい時間は過ぎてメンバーと二次会へ。場所を東京吉祥寺に変えて、隈研吾さんが内装を手掛けたという居酒屋へ。洒落たカウンターでホッピーを飲みました。関東に来たからこそその経験が出来、夜は更けていくのです。





さて次の日は、妻と合流し東京を時間がある限り観光しました。



明治神宮・靖国神社・浅草寺・合羽橋・皇居等。妻の友達にも会えて（大分の干し椎茸をお土産に（笑））充実した時間を過ごすことが出来ました。



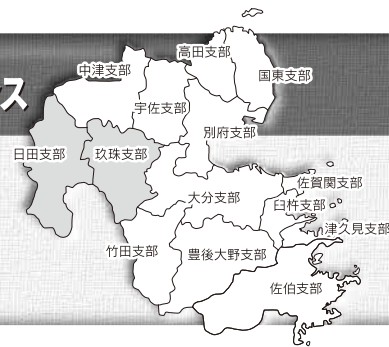
私的な旅程もあえて記したのは、それぞれに旅の目的を設け全国大会を良い意味で活用しても良いのではないかと思います。建築士として見聞を広めることは決して無駄なことではありません。全国大会への参加をためらっている方もいらっしゃると思います。自己流で全国大会を絡めた旅をするのも良いものですよ。

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



★生 年 昭和60年生まれ

★勤 務 先 自営

★趣 味 読書

★将来の夢、モットー等

玖珠支部の鶴窪優美と申します。

父、祖父が建築板金をしていたので、小さい頃から建築に興味があり、高校、短期大学と建築を学んできました。

二級建築士の資格を取得し、結婚を期に去年から建築士会に入会いたしました。

建築士会の先輩方の技術や知識の話を聞くと、とても勉強になります。

今は休職中で建築の仕事をしていませんが、ゆくゆくは父と弟と共に実家の仕事を手伝いたいと思っています。

これからもよろしくお願ひ致します。



鶴窪 優美 (玖珠支部)

★生 年 昭和61年生まれ

★勤 務 先 株式会社ヒグチ設計

★趣 味 サッカー、釣り

★将来の夢、モットー等

株式会社ヒグチ設計の友田と申します。

昨年、一級建築士に合格し、スタートラインに立てたと思っています。

業務では住宅、多様な工事の設計に携わっていますが、お客様の要望する一歩先のものやプラスαのものをご提案できるよう努めていますが、まだまだです。

日々、勉強と沢山の事を経験することで見聞を広めて行きたいと思ひます。

「建築」という世界は深く広すぎます…

建築士会を通じ、沢山の先輩方や様々な分野の方々と交流させて頂く事で知識を吸収していければと考えています。

これからもよろしくお願ひ致します。



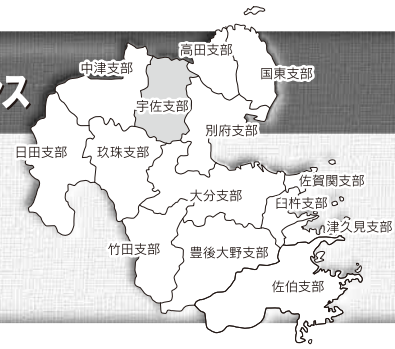
友田 良 (日田支部)

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



- ★生 年 昭和43年
- ★勤 務 先 (株)奥田組
- ★趣 味 バイクツーリング
- ★将来の夢、モットー等

社会人となり現在の会社に入り早いもので30年。平成の時代と共に建築を始め今だに続けられているのは自分の性格に合っていたのかなとつくづく思います。しかしこれで終わりではなく、ただ元号が変わるだけ。まだまだ実力を発揮しなければならないようです。

社会人になった頃は周りに頼れる先輩方がいましたが、その人達をも追い越そうとする野望があり、資格取得に躍起になったり大建築にはほぼ着任させてもらったりと、今思えば良い経験だったとつくづく思います。これからの若い方も数多く努力して成長してほしいです。

慌ただしく過ごしてきた自分は建設現場の管理を主としている為、建築士会の活動がおろそかになっていましたが、近年、士会の活動も行い易くなったのでこれからも士会を通じ自分の知らないものとかに視野を広げていければと思っています。



廣崎 聡 (宇佐支部)



MY WORK

- ★建物名称 PAN LLANO (スペイン語で食パンの意)
- ★建築場所 別府市大字野田字通山
- ★用途 高等学校の校舎
- ★床面積 1,739.70㎡
- ★構造 鉄骨造 地上4階建
- ★発注 別府溝部学園
- ★設計・監理 (株)大有設計
- ★施工者 (株)佐伯建設
- ★設計趣旨

設計プロポーザルにおいて、未来志向の**エコな学び空間**、内外を**立体的にむすぶ動線**、地域に開かれた**交流空間**の提案などが評価され最優秀賞となる。外観を印象付けるツインボルトの屋根は、大空にはばたく鳥、mizobeの「m」、そして食パンをモチーフに、創立70周年を迎えた学園全体のランドマークとなっている。

全教室に**ライトシェルフ**を設け、直射日光を遮りつつ昼光を部屋の奥まで導く、昼光センサーと併用する事で高い省エネ効果を生み出している。移動動線の中にはX型階段と中空渡廊下を配置し、**交流動線を立体的に集約**した。1Fには食のプロを目指す生徒たちの為に、ガラス張りの「**見せる厨房**」を完備、**地域交流空間**と隣接しており、多様なイベントに対応できる。耐震改築であることを踏まえ、耐震強度は重要度係数=1.25を達成している。



- ★建物名称 納骨堂改修工事
- ★建築場所 杵築市
- ★用途 納骨堂
- ★床面積 39.69㎡
- ★構造 木造
- ★設計者 日本ハウジング建築設計事務所
佐藤啓之
- ★施工者 日本ハウジング(株)



★設計趣旨

杵築市内にて長く続くお寺の境内にある経蔵。もとは大分市の神社にあったものを100年程前に移築されたとのこと。

ひどく劣化していた柱脚は切り取られ、揚屋工事を行いコンクリート基礎へと。充填断熱や床下調湿も施し室内環境を整備。

内部は珪藻土や、杉材の自然素材によって温かみある空間に。当時からの牛梁や斗拱に時代の経過を感じます。

ご先祖と心落ち着かせて向きあうことのできる納骨堂となりました。



MY WORK

- ★建物名称 別府市竹細工伝統産業会館
ミュージアムショップ&カフェ
- ★建築場所 大分県別府市東荘園8丁目3組
(実相寺サッカー場南側)
- ★用途 物品販売店、飲食店
- ★床面積 48.75㎡
- ★構造 RC造平屋建
- ★設計者 別府市建設部施設整備課第2係
- ★施工者 (株)後藤工務店

★設計趣旨

外観は、存在感のある和風の本館に対して、埋もれないようにコントラストを付ける形状とした。正面の竹の格子の下部には調光・色が可能な間接照明を設置し、シーンに合わせた演出ができる。

内観は、別府竹細工の上質感を損なわないようシンプルに漆喰風の塗り壁とし、床はコンクリート面に竹細工を散らして敷きクリア塗装仕上げとした。カフェスペースは外構の竹林部分のみが望めるよう横長の窓とし、テーブルは竹林と空が反射して映り込む素材とした。照明や空調設備は、なるべく目立たないよう配置し商品を引き立たせる計画とし、サービスカウンターの照明は別府竹細工の裏に取り付け、光が編組から漏れるようにした。





My Best Book



マイベストブック

『景観にかける』

著者：石原 一子 装幀：吉田 宏一

津久見支部 竹田 光徳

今回紹介する書籍は、大都会東京の学園都市、国立市を舞台に市民運動により繰り広げられた景観紛争を裁判をとおして景観利益の判決を獲得するまでを描いたものである。

構成は5章からなり、第1章は著者のバックグラウンド。1924に中国の大連に生まれ。とはいっても両親は日本人である。大連からハルビンに転居し、大学進学のため日本に来てから終戦までを綴っている。

第2章は著者が戦後の混乱のなかから自立を目指した時代を描いている。女性への差別が家族制度すべてに行きわたっていた戦前の日本から、男女平等の社会へと変貌し、女性の社会的地位に光が当てられた時代に自立していく様子を綴っている。

第3章はいよいよ本書の核心である景観紛争を纏めている。JR国立駅から南へ延びる大学通りの南の端に高層マンションの計画が持ち上がり、地区計画や景観条例、はたまた市長の交代等、様々な事柄から行政裁判や民事裁判を経験している。結果的に高層マンションは建ってしまう。しかし最高裁は地域住民には「景観利益」があると認め、景観被害をめぐって住民が裁判で回復を求める道を開いた。

今回の高層マンションは景観利益の侵害はないと結論づけられている。

第4章は景観紛争の中心となった市民運動について語っています。バックグラウンドも違い、考え方にも温度差がある個人集合体に同じ目標を認識させる必要性和、常に現場の中心に居るというリーダーの立ち位置を語っています。

最終章は景観市民運動全国ネットの設立と、活動を紹介しています。

最後に、この書籍の装幀を担当した吉田宏一氏は、白杵市出身であり私の友人であります。

※景観利益：良好な景観の恩恵を受ける利益



『嫌われる勇氣・幸せになる勇氣』

佐伯支部 井上 一則

フロイド、ユングと並び「心理学の三大巨頭」と称された一人、アルフレッド・アドラーの思想を凝縮した本です。

一般的な哲学書や心理学書とは違い、哲人とその元を訪れた青年（哲人が唱える思想を真っ向から反論する）との会話形式で書かれた本です。



この哲人（＝アドラーの思想）は、世界と人生は信じがたいほどにシンプルなものである…こんな書き出しから始まります。

人は誰しも客観的な世界に住んでいるのではなく、自らが意味づけを施した主観的な世界に住んでいる。

とかく人は世界が、いや人生が複雑であるからシンプル世界と意味付けるのとは矛盾が生じるのでは？と思いがち。

だが、それは世界とか社会を「あなた自身」が複雑なものとしているだけなんですと。人生には原因（過去）と目的（未来）があります。人はこの原因にばかり目を向け、原因だけで物事を説明しようとしている。それがおのずと決定論としてしまいます。

目的に〇〇しても駄目だとか無駄だ、だから何もしない何も出来ない（過去＝原因がそうだったから）とはしていないか？だろうか。

要するに、自分が勝手に負の目的を作り、それに不安や恐怖をこしらえているからです、と教えています。

人は自分を守ろうとするあまり、自分の意見を押し殺す事が多い。

「この意見を言うと嫌われてしまうのでは…」そう思い嫌われたく無い思いが募ります。

そこで「嫌われてもいいと思う勇氣」を持てば、人生は変わります。

嫌われるとは人を傷つけることでは無く、世間体を気にしない己の勇氣なのです…

そんな一冊です。

建築士会サイクリング部活動報告

『別府八湯めぐりサイクリング』

佐賀関支部 渡 邊 豊 基

11月3日、絶好の秋晴れのなか、別府八湯めぐりサイクリングを開催しました。

参加者は、臼杵支部の三重野さん、別府支部の寺林さん、籠田さん、私の4名です。

平均年齢は、なんと58歳！…ジジイサイクリストの集団に沿道から声援もありましたよ。(笑)

さて、コースは浜脇温泉—観海寺温泉—堀田温泉—明礬温泉—鉄輪温泉—紫石温泉—亀川温泉—別府温泉を巡ることとして、案内役は寺林さんに一任し、いざ出発。

浜脇温泉は現在、再開発により複合施設に取り込まれていますが、古くは木造建ての温泉館であったとのこと。当時、近くには関西汽船の発着港や東別府駅もあり、繁華街として賑わっていたとのことでした。



東別府駅前パチリ。

この地の見学を終え、次の観海寺温泉へ。

銭亀峠へ向かう県道を経由し、ラクテンチの裏側に通じる市道は激坂が続きます。

序盤はスイスイと登坂していましたが、気が付けば1人足りない！

なんと、最年少の籠田さんが遅れているではないか！サポートのためコースを引返し、応援しながらなんとか集団に復帰しました。

別府発電所の近くで小休止。別府市街の絶景に一同感激です。



劇坂で悲鳴をあげる籠田さん(笑)



ラクテンチの駐車場でパチリ。

ラクテンチは家族連れで賑わっていましたが、最近土・日・祝日しか営業していないとのこと。我々の幼少の頃は、ラクテンチは一大遊園地で、来園の度にワクワクドキドキしたもので、特にアヒルの競争には我を忘れて賭けたものだ。と思い出話に花が咲きました。

観海寺温泉に到着し、西日本一の巨大ホテルである「スギノイホテル」の前の激坂を通過。週末であることから、県外ナンバーの車が目立ちました。また、アジアからのインバウンド客も多く、一時は倒産しかけたホテルの隆盛に一同感心。

ここで、激坂は終わり、石垣原合戦地の展望台で小休止。石垣原の戦いは、慶長5年(1600年)の黒田如水軍と大友義統軍の合戦ですが、その後、佐賀関の合戦へと続いており、歴史の面白さを感じたものです。



石垣原合戦地の展望台でパチリ。

一行は、堀田温泉を通過し、九州横断道路を北上し、明礬温泉へと進みます。

緩やかな坂道を軽快に上っていきませんが、気が付くと、またしても籠田さんが遅れているのではないか！日陰があったので、ここで小休止。その日陰の正体を確認すると、なんと高速道路「明礬大橋」の真下でした。

最新の土木技術により築造された橋を真下から見ることで、建築とは違うスケール感を覚えました。



明礬大橋の真下からパチリ。

明礬温泉へ到着し、ここで昼食休憩。食事中に、寺林さんから、「時間はたっぷりあるので、このまま十文字原に行こう」と提案がありましたが、これには籠田さんが即答。「無理」とのことで、近場の温泉で入湯することに。

「鶴寿泉」は市営の温泉施設で、入浴料はお賽銭のみ。湯質もやわらかく、温度も適度でとても良い温泉でした。

温泉で汗を流したつもりが、温泉の効果か、汗が

止まりません。(笑)

一行は、チャリにまたがり、風で汗を飛ばすこととしました。

次の目的地は、鉄輪温泉です。ここも、多くのお客さんで賑わっていました。

たくさんの観光バスが、ところ狭しとひしめき合っており、インバウンド客の旺盛な観光に一同ビックリです。

この温泉街一带は、市の温泉施設の再整備と併せて民間のホテルなども整備されており、観海寺温泉に次ぐ利用客があるとのこと。別府温泉全体で年間約700万人の利用があるといわれており、さすが、国際温泉都市であることを実感しました。

さて、一行は県道218号の下り坂を爆走します。紫石温泉を通過し、亀川温泉へ。

ここでは、温泉ではなく、別府ケイリン場を見学。丁度、防府ケイリンが開催されており、場外車券が販売され、多くのファンで賑わっていました。

私は、過去に県民体育大会の自転車競技にて、ケイリン他のトラック競技をしており、その経験談を話したところ、「トラックを走りたい」との要望があり、「郡市の自転車競技連盟を紹介するよ～」と回答すると、尻込みしていましたが。(笑)



平成16年の県体トラック競技「チームパシュート」のスタート前。一番手前が私です。笑

なお、ケイリン開催日のみ営業する「別府ケイリン温泉」があります。たしか無料だったような！？



ケイリン場でパチリ。

一行は、最後の目的地である別府温泉へ。

国道10号は交通量が多く危険なことから、港湾修景道路を進みます。

別府海浜砂湯では、砂湯スタッフから声援を受けて快調に進みますが、その途中から園路の舗装が石畳になり、まるでツール・ド・フランスの石畳みコースの「パフェ」を想像しましたが、パンクに注意し、ここを難なく乗り切り、国際観光港を猛スピードで爆走。

別府温泉の中核施設である「竹瓦温泉」へ到着。



竹瓦温泉前でパチリ。

今回のサイクリングの総走行距離は約30km。

物足りなさ感もありましたが、日ごろ目にするこ
とのない風景や建築物をガイド付きで見学するこ
が出来たことに感謝いたします。

寺林さん。ありがとうございました。

最後に、読者のみなさんでサイクリングに興味の
ある方は、連絡してください。

超、ゆる～いサイクリングから始めましょう。

佐賀関支部 渡邊 豊基

携帯 090-9584-5165

E-mail : toyoki1104@yahoo.co.jp





マーボの旅先日記 第10



会長 井上正文

もうひとつの醍醐寺を訪ねて

京都・醍醐寺は秀吉の「醍醐の花見」でも有名な京都観光の名所のひとつで、多くの観光客で賑わうスポットです。下醍醐といわれる境内には国宝建造物でもある三宝院表書院、唐門、五重塔及び金堂があることはご存知の方も多いことでしょう。この五重塔は法隆寺五重塔、東寺五重塔と並んで日本を代表する五重塔のひとつです。



醍醐寺・五重塔（下醍醐）

今回は、同じ醍醐寺でも笠取山の山麓地域の上醍醐をご紹介します。上醍醐へは、下醍醐から徒歩で、ゆうに40分。回りの景色でも楽しみながらだと片道1時間の行程です。急峻な山登りとまでは言いませんが、ある意味、覚悟が必要な道のりです。ただ、道中は森の中の参道で自然を満喫で

きる環境でもありますので、時間に余裕をもって、ゆっくりの行程がお勧めです。



上醍醐への参道

この道中に国宝・薬師堂と国宝・清滝宮（せいりゅうぐう）拝殿があります。



醍醐寺・薬師堂（上醍醐）

薬師堂は、派手さはありませんが落ち着いた雰囲気があります。平安末期1121年に再建されたものが現存しています。簡素な意匠ですが、葺股や組物など平安時代の特色を表しています。清滝宮拝殿は、崖地に建つ建物で懸造りになっています。軒唐破風が付き、屋根は檜皮葺となっています。室町時代の1434年に再建されたものが現存しています。



醍醐寺・清滝宮拜殿（上醍醐）

また、道中には秀吉が花見をしたとされるスポットもあります。山中への入り口には、竹製の杖が置いてありますので、この杖の持参はお勧めです。みなさんの中にも醍醐寺（下醍醐）に行かれた方は多いかと思いますが、上醍醐へも足を運んでみてはいかがでしょうかでしょう。そして、秀吉の花見の気分も味わって下さい。



法界寺・阿弥陀堂

醍醐寺からほど近い京都市伏見区日野には、国宝・法界寺阿弥陀堂があります。堂内には、国宝・阿弥陀如来座像も安置されています。法界寺は日野富子で有名な日野氏の菩提寺です。阿弥陀堂は鎌倉初期の建立とされています。この阿弥陀堂の整った姿は、私の好きなお堂のひとつでもあります。醍醐寺と合わせて、法界寺にも足を運ばれてはどうでしょう。



事務局だより

■委員会活動報告

調査研究委員会

「地域の歴史的建造物の保存・活用に係る専門家（ヘリテージマネージャー）育成&ステップアップ研修」について

＜第4回・第5回＞

11月20日（火）と21日（水）の二日間にわたり、コンパルホールで約40名の方が参加され開催されました。

第4回（20日）のテーマは、①歴史的建築物の修復の限界耐力計算による耐震性能評価 ②限界耐力計算手法の演習 ③島根の伝統的木造建築物の耐震改修事例

第5回（21日）のテーマは、①歴史的建築物の修復の耐震設計手法（グループに分かれ演習）を行いました。

＜第6回＞

12月8日（土）にコンパルホールにおいて、午前は座学、午後は現場研修が約40名の方が出席され行われました。

テーマは、①気候風土適応住宅（伝統構法建築物）の省エネ対策 ②気候風土適応住宅モデル事例（現場研修） ③気候風土適応住宅認定と行政の関わり

＜第7回＞

平成31年2月9日（土）にコンパルホールにおいて40名を超える方が参加して、本年度分の閉講式と閉校特別講義が行われました。

閉校特別講義は、工学院大学理事長の後藤治先生と同大学客員研究員の二村悟先生による共著である「食と建築土木」の本をテキストとして、お二人からお話をいただきました。

●来年度も、ヘリテージマネージャー研修を行う予定です。詳細につきましては後日お知らせいたします。

事業委員会

1. 『アートプラザ開館20周年記念事業』について
展覧会 「磯崎新 地方都市の文化中心」について
昨年12月17日から27日にかけて、建築士会も主催する「アートプラザ開館20周年記念事業」の展覧会が行われました。

磯崎氏が東京大学時代に製作した卒業設計図面「地方都市の文化中心」の展示にほか2F60' Sホール、3F磯崎新建築展示室にて「Public Architecture」をテーマに模型等を展示にあわせて磯崎氏に蔵書を公開していました。

講演会 「建築家 磯崎新はどのように生まれた～廃墟の大分からの出発～」について

12月22日（土）にアートプラザにおいて約300名が出席し磯崎新氏の講演会が開催されました。

司会の佐藤誠治大分大学名誉教授が戦前から大分市の中心部の状況を磯崎氏の年齢と比べながら解説されました。1966年のアートプラザ（旧県立図書館）建築当時、若手だった磯崎氏は「これまでの建築の通念を何か壊したい。」と設計し、手応えを感じた。とのお話でした。磯崎氏は、同館のようにモダニズムの影響を受けたコンクリート打ち放しの建物が残りにくい現状などについても話されました。

なお、磯崎氏が所蔵していた建築や美術などの書籍18,000冊が大分市に寄贈されました。

2. 「2019新春 支部対抗ボウリング大会」について

2月2日（土）午後、大分市南大分のタワーボウル植田店で、「支部対抗ボウリング大会」を開催しました。60名を超える会員等が参加し、盛大に行われました。その結果、支部団体優勝は、臼杵支部、準優勝は大分支部（市役所チーム）、第3位は日田支部となりました。個人賞は、竹田支部の田島 薫さん優勝、準優勝は臼杵支部 梅田 雅也さん、第3位は臼杵支部 木村 純孝さんとなりました。

■青年女性委員会

「おおいた建築セミナーinさいき」について

1月26日（土）に、佐伯支部主催で約60名の方が参加し開催されました。

今回は、空き家・空き店舗といった遊休不動産をリファイン・リノベーションの手法を用いて再生し、活用していくことで、そのまちの地域課題を解決し「コミュニティ再生」「エリア価値の向上」を図る取り組み等を題材に行われました。

基調講演は、佐伯市蒲江出身でリファイニング建築の第一人者であります青木茂先生より、「ときをこえる建築」をテーマとして、古い建物を再利用し耐震性能を現行基準まで高める建築手法等のお話をいただきました。

講演のあとは、二つの分科会に分かれ、一つは「船頭町リノベまちづくりコース」、もう一つは「城下町探訪コース」で見学等をおこないました。

「船頭町リノベコース」では、佐伯支部会員の方が築100年近い古民家を購入し改修した住宅等を見学しました。

■防災委員会

「平成30年度被災建築物応急危険度判定現場研修会」について

3月16日（土）に30名近くの会員等の参加のもと、県と別府市の協力を得て判定士の経験や技術力向上を図るため、閉校となっている旧羽室台高校を活用し現場研修を実施しました。

昨年度は、木造住宅の現場研修でしたが、今回はRC造の危険度判定を行いました。机上だけでは得られない大変有意義な研修会となりました。

■事務局だより

案内1

『村松幸彦 人と仕事』の出版ご案内。

大分県建築士会元会長の、村松幸彦先生の人となりと仕事について書かれた本が出版されました。購入希望の方は、事務局までご連絡ください。

A4版 171頁 定価 1600円です。



案内2

「建築士定期講習」開催について

平成31年度の講習日程等の詳細は、改めてご案内します。

建築士事務所所属の建築士の皆様は、定期講習を受講期限内に受講してください。

案内3

「監理技術者講習」について

大分県建築士会では「毎月第2水曜日」に建築工事に特化した内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。CPD6単位が付与されます。

<講習会日程>

- 「毎月第2水曜日」に開催します。
- 時 間：8：50～16：40〔受付8：30開始〕
※8:45～8:50の5分間に講習の運営説明があります。
- 会 場：(公社)大分県建築士会会議室
- 形 式：DVD講習
- 定 員：各回10名程度
- 受講料：WEB申込 9,500円／窓口・郵送申込 10,000円

※受講申し込みは[日本建築士会連合会HP](#)よりお申込ください。

報告1

「改正建築士法」の成立について

受験に必要な条件とされている実務経験を、試験の前後に問わず免許登録までに積みばよいこととした内容です。

優れた人材を継続的・安定的に確保することを目的に、これまで受験要件だった「実務経験」を「免許登録要件」に変更。試験の前に求められていた実務経験を、試験の前後を問わず免許登録までに満たしていれば良いことになる。これにより卒業後すぐに受験ができるなど、受験機会の早期化が図れる。

改正法は公布から2年以内に施行される。新しい制度での試験は20年度にも始まる見通しである。

報告2

「改正建築士業務報酬基準説明会」について

建築士事務所の開設者がその業務に関して請求することのできる報酬の基準が改正されたのを受け3月7日、14日にアートプラザにおいて説明会が開催され、50名を超える方が出席されました。

報告3

「支部長・事務局・委員長会議」の開催について

平成31年2月5日（火）にコンパルホールにおいて「支部長・事務局・委員長合同会議」が開催されました。議題は、今年度の事業及び予算の執行状況と各委員会の事業報告、来年度の予算要望、今後の主な行事予定等について協議されました。

報告4

「第4回理事会」について

3月19日（火）にコンパルホールにおいて第4回理事会が次の内容について開催されました。

- ・来年度事業計画、予算案について
- ・公益目的保有財産の積立、寄付金の受入について
- ・歴史的建造物委員会（仮称）の設置について
- ・永年会員の表彰者について
- ・会員の入退会、会費の納入状況について

報告5

「第61回建築士会全国大会 さいたま大会」について

昨年10月26日（金）に「歴史に感謝 未来に約束」

を大会テーマに、全国から約3000名の建築士が参集し開催されました。

午前中は、9つのセッションに分かれ、全国の士会から発表が行われました。午後は、記念講演や川越のまちづくりの話があり、その後大会式典に移り、5時30分から大交流会がおこなわれました。

大交流会に最後は、次回開催の北海道建築士会もステージに上がり、PRを行い大いに盛り上がりました。大分からも32名の方が参加し、交流を深めました。なお、連合会会長表彰を、児島亨氏・仲摩和雄氏（大分支部）、中尾忠廣氏（中津支部）が受賞されました。

報告6

「第9回建築甲子園」の審査結果について

1月16日（水）に連合会と都道府県建築士会主催の「第9回建築甲子園」の審査結果が発表されました。今回も、「地域のくらしーリノベーションの可能性」をテーマに、社会的な問題となっている「空き家」の活用や再利用の提案を求められました。

当県からは、県立大分工業高校が出場しました。松田先生の指導のもと建築科の生徒さん5名のチームにより作成し応募しました。

審査の結果、「奨励賞」を受賞されました。

報告7

「一級、二級・木造建築士免許証明書交付式」について

2月27日（水）コンパルホールにおいて23名の方が出席され交付式が行われました。井上会長から免許証明書が交付され、その後名刺交換会（懇親会）が行われました。

会務行事案内

5月21日 第1回理事会

6月7日 総会・永年会員表彰式

広報委員

担当常務理事 委員 長 委員
〈大分〉 宮 崎 隆 博
〈別府〉 籠 田 真一郎
〈高田〉 清 末 幸 生
〈大分〉 後 藤 悟 明
〈津久見〉 濱 野 一 明
〈佐伯〉 志 賀 智 昭
〈日田〉 佐 藤 敏 孝
〈中津〉 松 山 桂 嗣

編集委員

担当常務理事 委員 長 委員
〈大分〉 宮 崎 隆 博
〈高田〉 後 藤 憲 二
〈大分〉 佐 藤 啓 之
〈大分〉 高 橋 大 介
〈大分〉 丹 生 孝 太
〈大分〉 野 村 卓 矢
〈別府〉 小 山 秀 輝
〈臼杵〉 佐 藤 暢 彦
〈津久見〉 竹 田 光 徳
〈佐伯〉 長 田 孝 治
〈佐賀県〉 井 上 雅 順
〈豊後大野〉 伊 東 勇 治
〈竹田〉 江 上 禎 一
〈玖珠〉 白 地 泰 憲
〈日田〉 伊 藤 照 幸
〈中津〉 松 山 桂 嗣
〈宇佐〉 古 市 憲 司

建築士おおいた

2019.3 No. 122

(非売品)

平成31年3月31日 印刷

平成31年3月31日 発行

編集／発行所

公益社団法人

大 分 県 建 築 士 会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 富士火災大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

建築士

おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0625	豊後高田市水取 334 番地 2	0978-22-2216
国東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別府	874-0919	別府市石垣東 1 丁目 9 番 31 号 (株)幸建設内	0977-23-6231
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 富士火災大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼杵	875-0023	臼杵市大字江無田 131 番地 1 (株)高橋設計内	0972-62-4213
津久見	879-2442	津久見市港町 7-22 一級建築士事務所 たかせ ao 内	0972-82-1203
佐伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-22-5008
豊後大野	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 1922-1 2F 高野建設一級建築士事務所内	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日田	877-0026	日田市田島本町 4-1 野村一級建築設計事務所内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇佐	879-0453	宇佐市上田 931-3 宇佐建設会館内	0978-33-3395
本部	http://www.oita-shikai.or.jp/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会